

2010年 **5月21日** (金) 18:30-20:00

第10会場 | 東京国際フォーラム ガラス棟5F G510

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

ディベートセッション 認知症診断における形態・機能画像 の役割について考える

座長

富本 秀和 先生

三重大学大学院医学系研究科
神経病態内科学 教授
(認知症医療学 教授・兼任)

MRIの立場から

VS

SPECTの立場から

青木 茂樹 先生

順天堂大学 大学院医学研究科
放射線医学 教授

羽生 春夫 先生

東京医科大学
老年病科 教授

症例提示

I

本井 ゆみ子 先生

順天堂大学医学部
脳神経内科 准教授

II

清水 聡一郎 先生

東京医科大学
老年病科

III

伊井 裕一郎 先生

三重大学
神経内科

※ 本イブニングセミナーは整理券制ではございません。

共催

第51回日本神経学会総会
日本脳神経核医学研究会
日本メジフィジックス株式会社

 nihon
medi+physics

ディベートセッション

認知症診断における形態・機能画像の役割について考える

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行ってほしいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

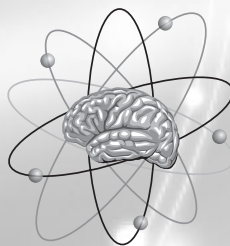
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN